

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)

【公開番号】特開 2003-62288 (P2003-62288A)

【公開日】平成 15 年 3 月 4 日 (2003.3.4)

【出願番号】特願 2001-252614 (P2001-252614)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 7/02

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 8

A 6 3 F 7/02 3 3 2 B

A 6 3 F 7/02 3 3 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 12 日 (2005.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各種入賞部への入賞を検出し、入賞信号を出力する入賞検出手段と、  
 賞球を排出する排出装置と、  
 前記排出装置を制御する排出制御手段と、  
 前記入賞検出に基づいて前記排出制御手段に賞球排出を指示する主制御手段とを備え、  
 遊技の結果、所定条件が成立すると遊技者に有利な特別遊技状態を発生可能に構成された遊技機において、  
 前記主制御手段は、  
 前記入賞信号に関連して賞球情報を生成する賞球情報生成手段と、  
 前記特別遊技状態での入賞に基づく賞球であるか否かを特定可能に賞球情報を記憶する賞球情報記憶手段と、  
 前記排出装置から排出された賞球を監視する賞球排出監視手段と、  
 前記賞球排出監視手段の監視結果に基づいて、所定数の賞球排出毎に賞球数情報を生成する外部出力情報生成手段と、  
 前記外部出力情報生成手段が生成した賞球数情報を遊技機外部に出力する外部情報出力手段とを備え、  
 前記外部出力情報生成手段は、前記賞球情報記憶手段に記憶された賞球情報を用いて、特別遊技状態に関わるものであるか否かを特定可能に賞球数情報を生成することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記外部出力情報生成手段は、前記賞球数情報の信号長を異ならせることによって、特別遊技状態に関わらない賞球数情報と、特別遊技状態に関わる賞球数情報とを区別可能に賞球数情報を生成することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

特別遊技状態中は特別遊技状態に関わらない賞球数情報が特別遊技状態に関わる賞球数情報に優先して出力され、特別遊技状態でないときは特別遊技状態に関わる賞球数情報が特別遊技状態に関わらない賞球数情報に優先して出力されることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

## 【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 に記載の遊技機から出力される遊技関連情報を収集する遊技用装置であって、

前記賞球排出に関わる賞球数情報を検出する賞球数情報検出手段と、

前記賞球数情報検出手段が検出した賞球数情報に基づいて該賞球数情報が特別遊技状態に関わるものであるか否かを判定する特別遊技状態判定手段と、

前記特別遊技状態判定手段が検出した賞球数情報が特別遊技状態に関わる賞球数情報であると判定すると、該賞球数情報を特別遊技状態に関連した賞球数として集計する特賞中賞球情報集計手段を備えたことを特徴とする遊技用装置。

## 【請求項 5】

前記遊技機から出力される特賞信号を検出する特賞信号検出手段を備え、

前記特賞信号を検出すると特賞中賞球情報集計手段が記憶する賞球数を初期化すること  
を特徴とする請求項 4 に記載の遊技用装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【従来の技術】

【課題を解決するための手段】

第1の発明は、各種入賞部への入賞を検出し、入賞信号を出力する入賞検出手段と、賞球を排出する排出装置と、前記排出装置を制御する排出制御手段と、前記入賞検出に基づいて前記排出制御手段に賞球排出を指示する主制御手段とを備え、遊技の結果、所定条件が成立すると遊技者に有利な特別遊技状態を発生可能に構成された遊技機において、前記主制御手段は、前記入賞信号に関連して賞球情報を生成する賞球情報生成手段と、前記特別遊技状態での入賞に基づく賞球であるか否かを特定可能に賞球情報を記憶する賞球情報記憶手段と、前記排出装置から排出された賞球を監視する賞球排出監視手段と、前記賞球排出監視手段の監視結果に基づいて、所定数の賞球排出毎に賞球数情報を生成する外部出力情報生成手段と、前記外部出力情報生成手段が生成した賞球数情報を遊技機外部に出力する外部情報出力手段とを備え、前記外部出力情報生成手段は、前記賞球情報記憶手段に記憶された賞球情報を用いて、特別遊技状態に関わるものであるか否かを特定可能に賞球数情報を生成する。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

第4の発明は、第1～第3の発明に係る遊技機から出力される遊技関連情報を収集する遊技用装置であって、前記賞球排出に関わる賞球数情報を検出する賞球数情報検出手段と、前記賞球数情報検出手段が検出した賞球数情報に基づいて該賞球数情報が特別遊技状態に関わるものであるか否かを判定する特別遊技状態判定手段と、前記特別遊技状態判定手段が検出した賞球数情報が特別遊技状態に関わる賞球数情報であると判定すると、該賞球数情報を特別遊技状態に関連した賞球数として集計する特賞中賞球情報集計手段を備えたことを特徴とする。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0011】

第5の発明は、第4の発明において、前記遊技機から出力される特賞信号を検出する特賞信号検出手段を備え、前記特賞信号を検出すると特賞中賞球情報集計手段が記憶する賞球数を初期化することを特徴とする。

## 【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

## 【補正の内容】

## 【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

## 【補正の内容】

## 【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0014】

## 【発明の作用および効果】

第1の発明では、各種入賞部への入賞を検出し、入賞信号を出力する入賞検出手段と、賞球を排出する排出装置と、前記排出装置を制御する排出制御手段と、前記入賞検出に基づいて前記排出制御手段に賞球排出を指示する主制御手段とを備え、遊技の結果、所定条件が成立すると遊技者に有利な特別遊技状態を発生可能に構成された遊技機において、前記主制御手段は、前記入賞信号に関連して賞球情報を生成する賞球情報生成手段と、前記特別遊技状態での入賞に基づく賞球であるか否かを特定可能に賞球情報を記憶する賞球情報記憶手段と、前記排出装置から排出された賞球を監視する賞球排出監視手段と、前記賞球排出監視手段の監視結果に基づいて、所定数の賞球排出毎に賞球数情報を生成する外部出力情報生成手段と、前記外部出力情報生成手段が生成した賞球数情報を遊技機外部に出力する外部情報出力手段とを備え、前記外部出力情報生成手段は、前記賞球情報記憶手段に記憶された賞球情報を用いて、特別遊技状態に関わるものであるか否かを特定可能に賞球数情報を生成するので、入賞タイミングで特別遊技状態中の入賞か否かを判断するため、従来採用されてきた排出タイミングでの判断に比べて、遊技状況、排出状況の影響を受けることなく、正確に賞球排出数を集計することができる。また、特別遊技状態の賞球排出数と、特別遊技状態以外での賞球排出数とを、賞球数情報によって区別できるため、より正確な営業データの集計が可能になる。特に、特別遊技状態中に玉詰まり等の賞球排出異常が生じても正確な賞球排出数を集計することができる。

## 【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0017】

第4の発明では、第1～第3の発明に係る遊技機から出力される遊技関連情報を収集する遊技用装置であって、前記賞球排出に関わる賞球数情報を検出する賞球数情報検出手段と、前記賞球数情報検出手段が検出した賞球数情報に基づいて該賞球数情報が特別遊技状

態に関わるものであるか否かを判定する特別遊技状態判定手段と、前記特別遊技状態判定手段が検出した賞球数情報が特別遊技状態に関わる賞球数情報であると判定すると、該賞球数情報を特別遊技状態に関連した賞球数として集計する特賞中賞球情報集計手段を備えたので、特別遊技状態の賞球排出数と、特別遊技状態以外での賞球排出数とを、賞球数情報によって区別できるため、より正確な営業データの集計が可能になる。特に、特別遊技状態中に玉詰まり等の賞球排出異常が生じてても正確な賞球排出数を集計することができる。

。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

第5の発明では、前記遊技機から出力される特賞信号を検出する特賞信号検出手段を備え、前記特賞信号を検出すると特賞中賞球情報集計手段が記憶する賞球数を初期化するので、玉詰まり等によって賞球排出に遅延が生じても、次の特別遊技状態の発生までの間に賞球排出遅延が復旧すれば、正確な特賞中賞球数を集計することができる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

遊技機1は、主制御手段を構成する遊技制御装置100、排出制御手段を構成する排出制御装置400、発射制御手段を構成する発射制御装置500、変動表示装置8を制御する表示制御装置等の各種制御装置が設けられている。なお、本実施の形態では遊技制御装置100と排出制御装置400とを別個に設けたが、遊技制御装置100と排出制御装置400とを一体の制御装置で構成してもよい。また、遊技機1には、これらの制御装置に制御される遊技装置として、排出装置600、変動表示装置8等が設けられている。

【手続補正 13】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3】

